



# 無印良品 シエスタハコダテ



【問合せ先】  
<https://www.muji.com/jp/flagship/share-star-hakodate/>  
TEL.0138-51-3025

無印良品は、木に囲まれた空間で、木の魅力やあたたかさを感じてほしいという思いから、親子でゆったり遊べる「木育広場」を設置しています。

## お客さまからの反応

函館には元々このような子どもが遊ぶスペースってそんなにない、あっても子どもが怪我をしないように、ビニールマットのものだったり、そんな環境が多いというのが、私も子を持つ親として感じていました。そんな中、ここは木の温もりとか肌触りというものを直接感じることができる場所なので、小さい頃から木に触れて遊べる環境はすごくいいね、嬉しいですよという言葉をまず親御さんからたくさんいただきました。お子さん自身も他の遊び場にはないおもちゃとか木を使ったこの環境が珍しいみたいで、すごく楽しんで遊んでいる姿をよく目にします。



株式会社良品計画  
安達 信彦さん



## スタッフの反応

スタッフは地元に住んでいる方ばかりなんですけど、道南スギを知らない人も多かったんです。ここはスギに囲まれた環境なので、スギの魅力に気づいたりして、自分で家を建てる時は道南スギを取り入れてみたいとか、木育ワークショップの担当になりたいという声があったりと、好評です。



## 無印良品シエスタハコダテ

2017年4月に地方の土着強化店舗としてオープンし今年で5年目になります。2Fにある木育広場や3FにあるOpenMUJIというスペースを通じて、地域の方とつながる活動を行ってきました。



## 地産地消、 地材地消の道南スギ

函館にこういう大きな店舗を作るときに、どうせ作るならば他の無印とはちょっと違った特徴が欲しいなと思い、この地域ならではの素材、道南スギを使うことにしました。

## 木育ワークショップ

店舗デザインに道南スギを取り入れたときに森町の(株)ハルキさんとつながることができました。そのハルキの鈴木さんが木育マスターだったこともあり、ご縁を活かして木育のワークショップをオープニングのイベントとしてやらせていただいたのが、ここで木育活動を始めた最初の取り組みです。

鈴木さんを通して色々な木育マスターの方をご紹介いただきました。木育のイベントはお客さまにも非常に好評いただき、私たち社員もとても楽しかったので、これは定期的に開催したら面白いなってことになり、気が付いたらオープンしてから5年間で約100回の木育ワークショップを重ねてきています。

## 日頃の地域密着活動

今やっている活動としては、まずこの木育広場を中心とした木育活動ですね。この地域の個人商店の方や生産者の方などをお呼びしたマーケット「つながる市」というマルシェを月に1回定期的に行っています。そういった活動の時に地元のアーティストやクリエイターの方をお呼びした展示イベントも行っています。

## 木育マスターの資格

今スタッフに1名木育マスターがいます。私は仕事柄、どうしても転勤があるので、木育マスターの資格は自分が取るよりも転勤の心配がないスタッフが地域の方々とつながって木育の活動をしていくことが重要なことだったので、スタッフの中から興味のある者を募って資格を取りに行ってもらいました。

※この後、安達さんは予想通り長野に転勤になりました。

